

第6回函館交通圏タクシー特定地域協議会議事概要

日 時：平成25年3月13日（水） 14：00～16：40

場 所：函館ハイヤー会館 2階会議室

出席者：委員・随行者、事務局、オブザーバー（函館交通圏内タクシー事業者各社）

報道関係：2社

【樋口会長】

本協議会の構成員の任期及び会長・事務局長の任期が昨年9月で切れているため、先日任期を平成27年9月30日までとする要綱の改正案を各委員に書面で諮り承認いただきました。

併せて会長を引き続き函館運輸支局長とする提案についても同時に承認いただき本日第6回協議会の開催となりました。

特措法に基づく地域指定は、函館交通圏において平成21年10月から平成24年9月末日まで指定され、その後平成27年9月30日までの3年間の再指定が行われたところです。

特定地域として指定された地域に求められる取組は主に3点。

1点目、協議会を組織し、タクシー事業の適正化及び活性化を推進するための地域計画を作成すること。

2点目、タクシー事業者は地域計画に基づき、特定事業計画を作成、運輸局の認定を受けて適正化及び活性化に取り組むこと。

3点目、事業者の取組を検証し、必要な場合更なる促進を検討すること。

本協議会も第4回目以降はフォローアップ協議会という位置付けとなっており、本日の協議会はその第3回目に当たります。

委員の皆様方からタクシー事業の適正化及び活性化推進に対する忌憚のないご意見をお願いします。

【田中事務局長】

前回第5回協議会からの委員の変更を報告します。

函館市企画部長 渡辺委員→谷口委員

北斗市総務部長 村田委員→澤村委員

七飯町企画財政課製作推進室長 星村委員→七飯町政策推進課長 杉原委員

函館労働基準監督署長 中村委員→東海林委員

北海道運輸局函館運輸支局長 竹谷委員→樋口委員

委員総数13名中代理出席を含め12名の出席を確認、協議会の成立を宣言。

【樋口会長（函館運輸支局）】

これより議事に入ります。報道機関の方々のご退席願います。

事務局より「函館交通圏における特定事業計画及び事業再構築の進捗状況、取り組み状況」について一括して説明を受け皆様の意見を伺います。事務局より説明をお願いします。

【田中事務局長（函館運輸支局）】

資料説明

【樋口会長（函館運輸支局）】

それではただいま説明のあった内容についてご意見・ご質問がありましたらお願いします。

【全自交高橋委員】

全体的な営業収入は落ちているが各事業者の減車により1車当たりの営業収入は増えている状況です。しかしながら、これがタクシードライバーの年収には届いていない。適正車両数にも届いていない状況です。資料からも減車の効果というのは実証されていますので各社には引き続き減車に取り組んでいただきたいと思いません。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

現在は3社が減車をしていません。早急に取り組んでもらいたいと思います。昨年全タク連の会議に参加してきましたが、国土交通省として減車をしていない会社には厳しく対応するとの話しも聞いております。この法令化も次年度中に進むと思われます。政権は替わりましたが自民党もやる気があると聞いていますので様子を見たいと考えています。

震災から2年経ち、營收が悪かったが減車の効果もあり徐々に回復してきています。函館の人口は28万人を切ってしまい長期的な不況に陥っていますが自民党の景気対策にも期待しています。

料金については下限が低すぎると考えており、前回も上げなければおかしいと申し上げて組合さんから同様の意見が出ました。消費者としては上げて欲しくないところかもしれませんが、乗務員の待遇改善のため取り組みたいと考えています。

【全自交高橋委員】

鍵谷委員の方から我々と同じような意見をいただきました。ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

減車の問題ですが、管内の減車率が20%を超えているのに營收がそこまであがって来ないというのは、減車をしても遊休車を減らしているだけという会社もあるということです。全く減車をしていない会社、減車はしているものの元々実働率が低く遊休車両を減車している会社と実際に身を切って減車している会社があり公平性に欠けるところです。やはりこれは公平にそれぞれが身を切ることでお互いが納得するのではないか、そして1台あたりの単価が上がってくるのではないかとということです。

それから運賃の問題ですが、これから消費税も上がるというのもありますし、ハイヤー協会さんも独禁法の関係があつて難しいと思ひますがよろしくお願ひします。

【消費者協会岩船委員】

今の議論をお聞きして、前回の協議会でも申し上げましたが、消費者の代表が自分しかいないのは不満です。先ほどハイヤー協会の会長さんが消費者は料金を上げるのに反対するとの認識でしたが、前回もそれは違ふと申し上げています。やむを得ないと納得できるような金額とサービスを提供できるなら文句は言いません。労使の皆さんにはサービスの向上、料金を上げる理由を考慮していただきたい。サービスは下がる、料金は上がるでは当然消費者は怒ります。決して値上げに反対ということではありません。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

運賃については大きな理由は燃料の高騰です。函館では20%以上減車を実施しています。これは全道で函館だけです。これでも収入につながってこないという状況です。やっていない3社は別としてこれ以上の減車と

というのは難しい。料金を上げざるを得ない。ぜひ運賃改定したいということを強調したいと思います。

【樋口会長（函館運輸支局）】

減車の問題に関してですが、減車についてのメリット、デメリットということでどうでしょうか。

【全自交高橋委員】

確かに繁忙期になると車が足りなくなるというのはデメリットとして若干あるかもしれませんがそれは1年のうちのほんの何日間かです。我々が減車を訴えているのは、タクシードライバーの待遇を改善することによってゆとりが生まれ、交通渋滞の原因となる付け待ちや事故も少なくなり、安全で安心なタクシーを提供できるようになるだろうということですのでよろしくお願いします。

【消費者協会岩船委員】

サービスという点で、この寒冷地においてタクシーはなぜFRの車両ばかりなのでしょう。タイヤが空転してメーターは上がるし坂道も登れません。お金がかかるのはわかるがFFや四駆に入れ替えを進めればサービス改善になるのではないのでしょうか。冬の北海道でFRの車を運転するのはプロでも大変だと思います。事故防止にもつながるでしょう。安心に乗れるタクシーを用意してほしいと思います。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

市内で四駆のタクシーを入れているところはないと思います。たぶん札幌でもないでしょう。FFや四駆だとFRに比べて金額的にかなり割高になってしまいます。消費者協会さんの意見はもっともだと思いますが、今のところは各社に余裕はないと思います。

【樋口会長（函館運輸支局）】

今のところは厳しい状況ということですが、地域全体として供給過剰を脱して各社において利用者利便の向上、サービス改善を目指してほしいと思います。その他に何か意見はありますか。

【全自交高橋委員】

最近函館市の誘致活動による台湾などの観光客の増加、また今年はGLAYのコンサートが7月にあり5万人くらい訪れる見込みとのこと。これはタクシー業界にとってはとてもありがたいことですが、例えば空港から会場までの目安の運賃や移動経路をパンフレットなど作って周知してほしいと思います。できれば専用のタクシーベイなんかがあると良いのですがなかなか難しいと思うので円滑に移動できる方法を考えていただくとありがたいと思います。

【樋口会長（函館運輸支局）】

函館市さんはどうでしょうか。

【函館市長谷山委員（代理）】

実際には観光セクションの方で取り組んでいますのではっきりしたことは言えないのですが、どちらかというと緑の島など施設の整備の方を行ってしましてタクシーベイ等の整備というのはなかなか難しいのかなと思います。ただ、数万人の方が函館にいらっしゃると思いますので移動方法について周知するのはぜひやるべき

で、とても良い話しを聞けたと思っていますので担当セクションには話しをしたいと思っています。

【七飯町杉原委員】

初めて参加させていただき、地域計画も見させてもらったのですが、現在燃料費の高騰で倒産している会社もあると聞いています。エコカーもだんだん普及してきていますが、今後円安になっていくことを考えると燃料費はしばらく下がっていかないだろうと思います。地域計画の中で減車の努力をされて取り組んでいると思いますが、地域計画の中にこういった維持管理経費のことについて含めていけるかどうか。人口は減少していますが、高齢化が進み免許を返納する人も増えていて病院や買い物など高齢者の足としてタクシーの需要は増えてくると思います。料金の明確化や乗りやすさのサービスなどをみんなで考えていけば需要の喚起も進めていけるのではないかと考えていますし、おのずと賃金にも跳ね返ってくるのではないかと思います。危機的な状況であるのは燃料費の問題も大きいと思いますのでそういったことを計画に含めていけるのか確認したいと思います。

【田中事務局長（函館運輸支局）】

地域計画の内容について今後変更することが可能かどうかは確認して回答したいと思います。ただ、地域計画に入れなくても、こういった協議会の中で議論をしていただくことで、業界の方の取り組みの参考にしていただくことは可能ではないかと思います。

【樋口会長（函館運輸支局）】

燃料費対策などについて個々の事業者さんが取り組みをすすめてほしいと思いますし、運輸局においてもエコ対策、アイドリングストップ、環境対策の取り組みをすすめていますので各社においても活用して事業をすすめていただきたいと思います。

時間の関係もありますので、議題（3）の「タクシー事業適正化及び活性化に向けた取り組みについて」の議論にすすみたいと思います。

【田中事務局長（函館運輸支局）】

資料説明

【消費者協会岩船委員】

街にとって背骨はバスと電車です。ですが高齢化が進みタクシーにお世話になるケースが増えてくると思います。背骨があって肋骨はタクシーであってほしい。自宅から病院までとか短距離の利用がどんどん多くなってくるはずなのでこういったことを担ってもらいたい。

この協議会の議論は減車とか内向きの話しが多いと思います。新幹線開業に向けた話しとかをもっと考えるべきではないかなと思います。定額運賃とかジャンボタクシーの共同運行による相乗りタクシーとか。ワンメーターでどんどん乗ってもらう方策を出すとかやれることはあるはずだと思います。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

新幹線の開業については、昨年から乗り場のことなどJRやバス協会さんと議論をしているところです。

【自交総連西村委員】

新幹線について協議しているとのことですが、現在のJRとの関係は一部のタクシー会社の話しになってしまっている。全社に効果があるようにきちんと協議をしてほしいと思います。

【七飯町杉原委員】

タクシーの運賃について、地元の人ならどこからどこまでいくらかいかにだいたい予想はできると思いますが観光客が初めて来た土地ではわからないと思います。目安を表示するだけでもよいと思いますが、タクシーの運賃について例えば新駅からどこまではいくらとか定額運賃にすることはできるのでしょうか。

【田中事務局長（函館運輸支局）】

定額運賃としてどこからどこまでいくらという運賃を設定する制度はあります。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

定額運賃、時間制運賃などサービスの向上についても昨年から協会内で盛んに議論をしています。新駅から函館駅まで快速電車が出るということはほぼ決まっていますので、これに劣らずハイタクについても利用していただく方策を議論しているところです。

【道警方面本部有馬委員（代理）】

活性化にかかわるかどうかわかりませんが、警察としては違法駐車対策について協会さんとしてどう取り組まれるかお聞かせいただけますでしょうか。警察にも苦情は相当数入っています。取締りだけでは良くならないと思います。各事業者さんの協力が必要です。タクシー乗り場の整備という話もあるが短期的には無理な話なのでご協力をお願いしたい。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

協会においても厳しく指導しているところです。雪で狭くなっているところに何台も連なって停まっているとか、バス停を塞いでいるとか限度を超えたような車はどんどん取り締まっていただきたいと思います。

【消費者協会岩船委員】

毎回言っていますが、タクシーベイ、タクシープールはもっと広げてほしいということを行政の皆さんにお願いしたい。常にタクシーが停まっているところは需要があるから客待ちするということです。函館の中心部は歩道が広いところが多い。タクシーが半分隠れるくらいでもいいと思います。自治体の皆さんにはぜひ真剣に考えてもらいたい。

【樋口会長（函館運輸支局）】

昨年は、函館市においては中心市街地の関係で都市計画の中にタクシーベイも考えてみたいというご発言もありましたがいかがでしょうか。

【函館市長谷山委員（代理）】

函館市では来年度総合的な交通体系の計画作りを考えており、その中で電車とバスの他にタクシーも公共交通として含めて行きたいと考えていますので、こういったお話しとかハイヤー協会さんからもお話しを伺いなが

らすすめていきたいと考えています。

ただ、例えばバスについてはバスベイに入ってしまうと車の流れに入りづらくなるという意見もあり、タクシーベイを作ることでのどのようになるのかいろいろと考えながらすすめるべきではないかと思っています。

【函館地区ハイヤー協会鍵谷委員】

タクシーベイを作るときにはその地域の住民に反対されることが非常に多いです。それで実現できないということが過去に多々ありました。ぜひこういったとりくみをすすめるべきだと思いますがなかなか難しい場合が多いということをご紹介しておきます。

【樋口会長（函館運輸支局）】

次に議題（４）に進みます。これについて事務局から提案をお願いします。

※函館地区ハイヤー協会鍵谷委員は所要により退席

委員１３名中１１名が出席、引き続き協議会が成立していることを確認

【田中事務局長（函館運輸支局）】

前回の第５回協議会で、民間の方をもっと増やしてはどうだろうかというご提案がありました。それについての事務局の考えをまずお伝えしたいと思います。まず全道の状況としては各地域についても消費者協会と商工会議所もしくは消費者協会のみのお出席となっています。事務局としては、消費者協会と商工会議所の２団体から地域住民の代表として意見を伺っているのでこれ以上増やす必要はないのではないかという考えです。

仮に委員を増やす場合は設置要綱の改正が必要になります。要綱の改正は委員の全員の賛成が必要になりますが、本日は代理出席の方もおり持ち帰って議論しなければ結論が出ないという方もいらっしゃるかと思いますのでこの場で議決をとるのではなく、後日事務局にて各委員の意見を集約し結論を出してはどうでしょうか。

【樋口会長（函館運輸支局）】

これに関して各委員の意見を順番に伺いたいと思います。

【消費者協会岩船委員】

住民の代表として商工会議所と消費者協会だけでは反映できないと思います。今後高齢者や身障者の利用を増やすべきタクシーのことを話し合う場ですから、町会連合会の代表や高齢者団体、身障者団体の代表を入れて実際に利用する人からの意見を聞くべきだと思います。

【函館市長谷山委員（代理）】

この協議会はタクシーの特別措置法に基づいて設置されたものと認識しています。特措法の趣旨としてはタクシー事業の適正化・活性化を推進することが目的ということですがこれまでは活性化というよりは適正化という部分が多く議論されてきたと思っています。設置要綱の設置目的についても、函館交通圏の関係者の自主的な取り組みとしてタクシー事業の適正化、活性化を推進することが目的となっていることを考えると当事者であるタクシー事業者がどのように考えるのかというのが非常に重要ではないかと思っています。

協議会については、フォローアップの段階に入ってきていますので、今後活性化策を議論していく中で住民代表の意見を聞きたいということであれば必要かと思いますが、当事者であるタクシー事業者の考えを聞いてみ

たいと思います。

【函館個人タクシー協同組合高松委員】

事業者としては委員を増やして色んな方の意見を聞かせていただければと思います。

【七飯町杉原委員】

消費者協会さんは道南地域全体の意見を聞いている有識者として入っていただいていると思います。私もただ役所の一つの部署の立場としてではなくこれまでの知見、知識をもとに委員として発言するべきと思っています。この協議会においては何年も前からの計画で議論を進めており、各委員が自分の経験を生かした発言をしていける場だと思っていますのでこれから委員を増やす必要はないのではないかと思います。

【渡島総合振興局鶴飼委員】

この協議会の大きな話しは供給過剰の解消となっています。これまで複数回開いてきているので、これまでの流れをわかっているメンバーのほうが進めやすいのではないかと思います。

【道警方面本部有馬委員（代理）】

委員を増やすことに賛成です。この協議会については減車をすることによって活性化をすすめるという議論がメインになっていますが、今後は利用を増やしていくことも議論していかなければならない。そのためには消費者協会さんがおっしゃるとおり、民間の利用者を加えることによって新たな意見が出てくるかもしれないということで賛成したいと思います。

【函館労働基準監督署今野委員（代理）】

警察さんと同じ考えで、色んな声を聞くべきだと思います。

【自交総連西村委員】

この協議会はすでにフォローアップの段階ですので、今後委員を増やす必要はないのではないかと思います。

【全自交高橋委員】

正直言ってわかりません。消費者協会さんの意見ももつともだだと思いますが、我々の立場としてもどのような方が入りどんな状況になるのか、利害関係のある方が入り協議会そのものの内容が変わってしまうのではないかという心配もあり、今の段階ではなんとも言えないというのが率直な意見です。

【北斗市井村委員（代理）】

私も全自交さんに同じでどっちがいいのかなんとも言えないと思います。仮に増やすのであれば色んな意見が出ると思いますがどんな方向に行くのかわかりません。どのような方を何人くらい増やすのか、しっかりと準備する必要があると思います。

【樋口会長（函館運輸支局）】

皆様の意見をお聞きしましたが、委員を増やすということについて昨年から意見をいただいているので、本日の協議会で一定の方向を決めたいと思っています。要綱の改正については協議会の中で合意が得られればよい

のではないかとと思いますが、こういった話しで過半数以上ということで決めるべきものではなく、できれば全委員の合意が得られればと思っています。本日は欠席の委員や代理出席の委員もいらっしゃるので、ここで採決してしまうのはちょっと違うのではないかとと思います。先ほど事務局から提案のあったとおり、後日個別に各委員から意見を伺い、各委員の意思を皆様に示した上で合意がとれれば決定するという方針で行きたいと思いますがいかがでしょうか。

【消費者協会岩船委員】

私が余計な提案をしたために皆様に余計な時間をかけさせるというのも非常に不本意ですので一言申し上げます。こういった協議会を設置する上でどういった方の意見を取り入れた方がいいのかということで、先ほども言いましたがこの協議会は内向きの議論が多い。活性化を推進するためには外部の意見は絶対必要だと思っています。そのためにはこうした方がいいと思いますと提言したのであって必ず委員に入れることに固執するわけではありません。

【樋口会長（函館運輸支局）】

わかりました。協議会の運営方法として関係者をお呼びして意見を聞くということも可能です。昨年も委員以外の方に出席していただいて協議をしていただきました。運営の仕方として、テーマ毎に関係者をお呼びして意見を伺いその結果について議論するという方法はあると思います。私どもの方で事前に皆様のご意見をうかがい合意が得られれば、関係者から意見を聞き議論を進めるということになるかと思いますが、もし今回委員の皆様の合意が得られるのであれば、今回は要綱の改正は見送るということで進めたいと思いますがいかがでしょうか。

【消費者協会岩船委員】

オブザーバーの意見を伺うということが担保されるのであれば私はよろしいと思います。必ず委員に入れてくださいということではありません。

【樋口会長（函館運輸支局）】

他にご意見がなければ、今後このような形で進めたいと思います。
以上で本日予定していた議事は終了となります。

以 上